

年度	平成 29 年度								(5 4 3 2 1)
授業科目	総合管理技術		単位数	*2	必修	○	前期		
一般科目		専門科目	○	選必	選択		後期	○	
受講学生	学科	生産・物質化学工学専攻		学年	2年		通年		
担当教員	非常勤講師			氏名	松野祐二、守山寛、丹収一				
授業の 目標概要	<p>社会の要求に応え、科学技術を管理し、組織活動を継続的に運用していくためには、業務全般を見渡した俯瞰的な把握・分析に基づく技術の改善、及び合理的なプロセスによる安全性の確保や外部環境負荷の低減に取り組む必要があり、そのための管理技術が強く求められる。この授業では、以上の管理技術を習得することを目的とする。</p>								
教育目標	C,E	学習・到達目標			C-2, E-2				
事前学習・ 履修上の 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合管理技術の基礎知識を学習 ・ 学生自身の考え方を公表 ・ 事例の紹介後は学生の考え方をまとめてA4レポート等で提出 								
日程	授業項目				評価内容				
第1週	オリエンテーション・経済性管理1（松野）				科目の目的、授業実施方針が理解できる。 事業企画と事業計画が理解できる。 生産計画と生産統制が理解できる。				
第2週	経済性管理2（松野）				品質管理手法が理解できる。				
第3週	経済性管理3（松野）				品質保証の仕組みと活動が理解できる。				
第4週	経済性管理4（松野）				設備計画と設備保全が理解できる。 標準原価と原価統制が理解できる。				
第5週	人的資源管理1（松野）				人の行動モデル、組織形態、リーダーシップの機能や役割が理解できる。労働関係法と法体系、労務関係管理が理解できる。レポート：人の行動モデル				
第6週	人的資源管理2（松野）				職務分析、雇用管理、人間関係管理が理解できる。 教育訓練管理、人事考課管理が理解できる。 レポート：経営資源と労働法制				
第7週	情報管理1（守山）				経営資源としての情報が理解できる。 緊急時の情報管理が理解できる。 課題についてのレポート提出				
第8週	情報管理2（守山）				ネットワーク社会の特徴と情報管理が理解できる。 情報ネットワークが理解できる。 事例についてのレポート提出				
第9週	情報管理3（守山）				情報セキュリティが理解できる。				
第10週	安全性管理1（丹）				「日本の技術はどこから来たか」を理解する。 リスクの対応方針とリスクコミュニケーションが理解できる。 労働安全衛生法と未然防止活動の把握ができる。				

後 期	第 11 週	安全性管理 2 (丹)	危機管理活動の基本要素が理解できる。 防災・減災対策と大災害からの復興を考察する。	
	第 12 週	社内環境管理 1 (丹)	持続可能な開発が理解できる。 人口、水、生物多様性問題が理解できる。	
	第 13 週	社会環境管理 2 (丹)	地球温暖化、農業・漁業問題が理解できる。 エネルギー、資源のトレード・オフを理解できる。	
	第 14 週	社会環境管理 3・事前討議 (丹)	産業廃棄物、ISO14001 が理解できる。 マネジメントシステム手法が把握できる。	
	第 15 週	期末試験 (松野)		
	第 16 週	試験講評 (松野)	期末試験の間違い箇所の解説・傾向等の説明を行い、総合管理技術の理解度の向上を図る。	
期末試験の回数 (1回)				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は試験結果 (70%)、課題 (30%) の比率で実施 (詳細は第 1 回目の授業で説明) ・企業内の様々な事例を基にした管理技術 (マネジメント) 基礎の理解度や、それらの事例についての各自の意見、発表および提出レポートについて採点し、成績評価は 60 点以上を合格とし、単位取得と認定する。 			
オフィスアワー (教員在室時間)				